

短歌 (投稿順)

暮れからの青天続き三週間卯年の前途明るい希望
幸先よく好天なりし三ヶ日笑顔で帰る客を見送る
初釜に色染め直し作り替え娘に着せる懐かし着物
連日のニュース報ずる稀なる事件世の喧騒や巷の恐怖
美の山で日の出待つ間の西の景染まるモルゲン秩父連山
平和ボケ何が悪いと逆に問う核などらぬALL YOU NEED IS LOVE (愛いそ全っ)
陽だまりの窓の向こうに流れ行く雲を見ている寒いだろうと
この頃はクロスワードに興味持ち家事の合間に脳トレをする
モクロンジいつもの山道に落ちておる羽根つきした日幼きころを
「ばあちゃんに会いに来たよ」と久し振り春にはパパになるという孫
戦中の兜太に係はる俳人の昔日今に講演を聴く
大寒の寒さ味方に味噌仕込む伝授くるるは曾ての同僚
都会より交通不便里に住み車必要免許必要
蛇口より滴る水も凍りつき洗面台に氷柱の立つ
成人を迎えし曾孫祝福す晴れ着姿に喜びあふる

皆野 戸塚喜久雄
三沢 眞下 杏子
皆野 村田ハツ代
皆野 根岸 詩子
皆野 根岸 詩子
皆野 大澤 貴夫
皆野 石原 達也
皆野 萩原 初恵
下田野 新井 節子
国神 藤原マキ子
三沢 新井 叶子
三沢 新井 民子
皆野 引間 万亀
上日野沢 四方田利男
皆野 打木 昭廣
下日野沢 浅見 豊子

俳句 榎本順江 選 投稿数 18句

老犬に四種の葉睦月尽
皆野 豊田喜美恵
(評)長年家族として一緒に過ごして来た愛犬も古い、四種類もの葉とやさしい家族に支えられて
います。一月(睦月)も過ぎ、この冬を乗り越えられたら葉の量も減らせるでしょう。家族
と共に声援を送ります。頑張つて。二句目、穏やかに流れる様な太極拳の舞、心身鍛練の為
今ブームの様です。今日は野外での舞。梅の香りの漂う中、友達との舞はいつもと違う爽快
感だった事でしよう。三句目、春の楽しみ摘草。味・香り・葉効等多彩です。今日摘んで来
たものが夕食に並び、野草に詳しい作者が説明してくれます。家族の為にやさしい心遣いの
作者。睦まじい夕食のひと時です。

梅香る太極拳を友と舞ふ
皆野 櫻井 早苗
雲間から山脈照らす初明り
皆野 村田ハツ代
摘み草の滋養説きつつ夕の膳
皆野 萩原 初恵
在りし日の祖父の笑顔や春隣
皆野 太幡琉美花
生前の父の面影鬼やらひ
下日野沢 浅見 豊子
早春や短冊展の小筆持つ
三沢 新井 民子
供えたる仏間に香る寒苺
三沢 眞下 杏子
鳥の声目覚める朝や春兆す
皆野 根岸 詩子
寒雷や士官の手帖しめやかに
皆野中 小菅恭青史
待春や同窓会の便りくる
国神 藤原マキ子